

センターニュース No. 582

1. 大型計算機センター講習会のお知らせ

大型計算機センターでは下記のとおり講習会を開催します。希望者は、大型計算機センター共同利用掛 (Tel.: 092-642-2305, E-mail : kyodo@cc.kyushu-u.ac.jp) 宛にお申し込みください。電子メールで講習会を申し込む場合には、本記事末尾の[書式](#)をご利用ください。

- 会場：大型計算機センター・多目的講習室 (3階)
(α -FLOW は大型計算機センター・情報サロン (2階))
- 受付時間は開始時間の30分前からです。
- テキストはセンターで用意します。

開催日・定員	内容	申し込み締切
● メッセージパッシングライブラリ (MPL)		
6月1日 (火) 13時半～17時 40名	MPIによる並列化プログラミングの概要	5月28日 (金)
● 文献情報検索		
6月2日 (水) 13時半～16時 40名	文献情報検索システムAIRを用いた文献情報の検索と実習 (MSP)	5月31日 (月)
● LS-DYNA		
6月4日 (金) 10時～17時	非線形動的構造解析ソフトウェアの使用に必要な基本的内容の解説, 実習	6月2日 (水)

20名		
● MASPHYC		
7月 9日 (金) 10時～17時 20名	材料の物性・構造解析システムの使用法の説明と実習	7月 7日 (月)
● α -FLOW		
7月 15日 (木) 13時半～17時 40名	汎用 3次元流体解析システムの使用法の説明と実習 (場所: 大型計算機センター 2F 情報サロン)	7月 13日 (火)

 大型計算機センター講習会申込書 (電子メール用)

講習会名:

(受講を希望する講習会だけを残し、希望しない講習会を以下のリストから消してください。なお、実習がある講習会については実習を受けるか否かも指定してください。)

- [6/1] メッセージパッシングライブラリ
- [6/2] 文献情報検索
実習を 受ける 受けない (どちらかを消してください。)
- [6/4] LS-DYNA
実習を 受ける 受けない (どちらかを消してください。)
- [7/9] MASPHYC
実習を 受ける 受けない (どちらかを消してください。)
- [7/15] α -FLOW
実習を 受ける 受けない (どちらかを消してください。)

氏名:

所属:

職名 (学生の方は学年):

電話番号:

E-mail:

共同利用掛 (TEL: 092-642-2305, E-mail: kyodo@cc.kyushu-u.ac.jp)

2. 平成11年度CPU定額利用制度の試行運用継続について (再掲)

平成10年度実施いたしましたCPU定額利用制度の試行運用を平成11年度も引き続き4月1日(木)より実施します。

これは、計算機システムに余裕のある前期に、入出力負担金、ファイル使用負担金、データベース負担金等の利用負担金のうち演算負担金(CPU利用負担金)に限り、申請額(10万円)の負担により、

その5倍（50万円）まで利用できる制度です。

申請及び利用要領は下記のとおりです。

記

(1) 申請について

- 申請区分 10万円コース

(ただし、共通負担金5,000円が加算されます。)

- 申請受付期間 平成11年2月1日(月)～平成11年7月30日(金)必着

ただし、この申請受付期間内に利用限度額（50万円）を終了した場合に限り、更に1回追加申請（更新）を受け付けます。その際、支払費目は1回目と異なってもかまいません。なお、そのときは対象となる利用者番号が変更になります。

(例) 1回目 国立学校等校費(A79999A) 2回目 科学研究費 (A79999K)

- 利用期間 平成11年4月1日(木)～平成11年10月31日(日)

- 申請方法

「[CPU定額利用申請書](#)」（コピーでも可）に必要事項を記入の上、共同利用掛に提出してください。

なお、「CPU定額利用申請書」の記入に際しては、(3)「CPU定額利用申請書」記入上の注意をご参照ください。

- 申請の承認 「平成11年度CPU定額利用申請承認書」を送付します。

- 申請条件

支払費目はすべての予算区分で利用できます。

1利用者につき1課題のみとします。

承認後の取消しはできません。

※注意事項

◎実際の負担金の請求額は、演算負担金（CPU利用負担金）のほかファイル負担金、入出力負担金等が加算されますので10万円を超える予算額（最低105,000円）が必要になります。

◎支払費目の予算区分を科学研究費及び産学連携等研究費で申請する場合、通

常は利用額が利用見込額を超えると「利用の打ち切り」で計算機の利用ができなくなりますが、この制度を利用される場合、10月31日までは「警告」となり引き続き利用できます。
したがって、利用額が利用見込額を超えても利用が可能で、「WARNINGメッセージ」が表示されるだけです。ファイル使用負担金等は継続して課金されますので予算管理には十分ご注意ください。

(2) 利用要領について

1. CPU定額利用制度の利用期間は、平成11年4月1日(木)より平成11年10月31日(日)までであり、承認された日からこの制度の対象となります。
2. CPU定額利用制度の利用範囲は、演算負担金（CPU利用負担金）の合計額が50万円までです。
なお、承認された日からの演算負担金の合計額が、50万円までは請求しませんが、50万円を超えて利用された部分は、規程に基づいて負担金を請求します。
3. [演算負担金用のコマンド \(TEIGAKU\)](#) で利用額が確認できます。
4. 10万円の負担金は申請が承認された月の負担金になります。
5. 入出力負担金、ファイル使用負担金、データベース負担金等は本制度の対象外ですので規程に基づいて負担金を請求します。
6. ジョブの負担金は、ジョブを投入した時点ではなく、出力を含めて終了した時点で確定するものとします。

(3) 「定額利用申請書」記入上の注意について

1. 「*登録番号」欄 平成11年度新規に計算機利用の申請をされる方は記入不要です。
2. 「*支払責任者番号」欄 平成11年度新規に計算機利用の申請をされる方は記入不要です。

※ 不明な点は、共同利用掛（ダイヤルイン 092-642-2305）までお問い合わせください。

(システム運用掛 ダイヤルイン 092-642-2307)

3. 国際学術共同研究に係わる計算機利用申請の募集について

本センターでは、大学等の文部省所轄機関に所属する大型計算機センターの利用資格を有する方を

代表者とする国際共同研究について、海外の大学等の機関に所属する研究者を含む研究グループからの課題申請の受け付けを平成7年度より開始しました。

平成11年度も数件程度の課題を公募し、採択された研究課題に計算機利用負担金はセンターが負担することにいたしました。どうぞ奮ってご応募ください。

なお、「国際学術共同研究に係わる計算機利用申請書」の用紙は共同利用掛に用意してありますので、ご請求ください。

(共同利用掛 ダイヤルイン092-642-2305)

4. 停電による計算サービスの一時停止のお知らせ

箱崎地区構内の特高受変電所保全業務（特高機器点検整備のため）による停電作業のため、計算サービスを一時停止します。

平成11年5月23日（日曜日） 7時30分～19時

但し、ライブラリサーバ(wisdom)及び端末サーバ(kyu-ts)は通常どおり運用します。

(システム運用掛 ダイヤルイン 092-642-2307)